

'86 JMRC東北ラリーチャンピオンシリーズ チャンピオン獲得、

青森 館山正嗣選手、おめでとう。



最終戦、ラリー「プロ」東北に

迎春



CMSC本部
外川一雄会長

各支部のみなさん、明けまして、おめでとうございます。
昨年は、5月1日より実施された新車両規定のため、
全日本ラリー選手権での四国の一戦が中止になったの
を始め、各地で、いくつかの競技会が延期もしくは中
止となりました。
競技会開催に尽力つくされた幹部の方々を始め、競技
会委員を努められた方々ならびに参加した選手の方々
など、みなさまにおかれましては、大変な一年であつ
たことでしょう。本当にご苦労さまでした。
今年はお存じのように車両規定も、準国内以上の競技

会におきましては従来のものにほぼ近くなり、マシン
の安全面・性能面の向上が図られ、安心して開催・参
加できるようになったことと思います。
ラリーヘダートライアルへ、さらにレースへと昨年
以上にみなさんの積極的な活動を期待してやみません。
さらに全国でも11支部を数え、組織的に運営している
CMSCならではの新たな視点でイベントを創造し、
日本モータースポーツ全体の振興を共に図っていき
たいと念願します。
今年もみなさんのより一層の活躍をお祈りいたします。

CMSC 栃木

筑波サーキット
スポーツランドSUGO

耐久レース初体験レポート

チェッカー目指し、クラブ全員頑張りました。

筑波耐久300kmレース 11月3日祭、
菅生チャレンジ300km耐久レース 11月16日(日)



SUGOの馬の背を走るランサー



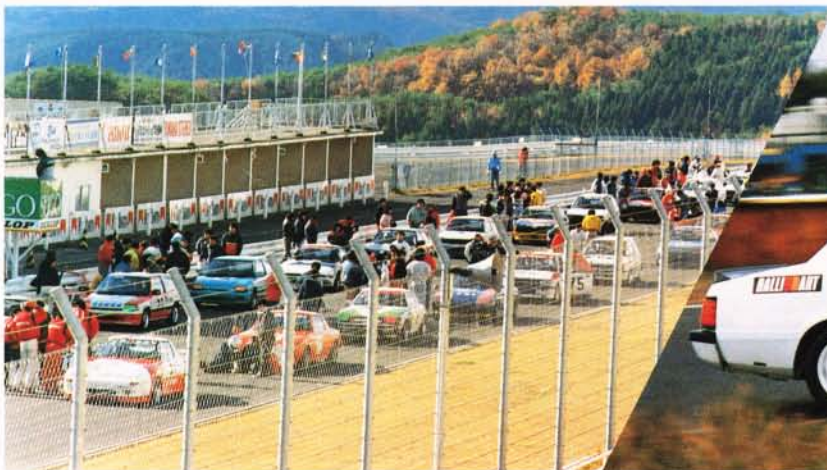
最近盛り上がってきたグループA耐久レースに刺激され、並木松雄、稲見孝雄のふたりがレース参加することになった。レースの経験はないが、サーキット走行やラリーアート・レーシングスクール参加の経験を持ち、ダートやラリーに参戦している中堅ドライバーである。8月上旬に参加が決定。稲見君のBIIランサーをグループAに改造するとなったが、ランサーのレース仕様というのは聞いたことも見たこともない。パーツはそろそろのか心配だったが、世の中広いものでサスを造ってくれるところがあり、ひと安心。エンジンは耐久ということもあり、ノーマルでいくことにした。次に耐久では重要な存在のピットクルーだが、経験者がいない。なにしろすべてが未経験ゾーンなのだ。希望者で間に合う。

取り寄せた特別規則書とJ項と首っ引きで車ができあがったのは前日の夜。それからピット作業の練習を行

ない、競技車をトラックに積みこんだら、11時を回っていた。当日は8時30分に受付、分刻みで車検、予選、決勝とつづく。不慣れな我がチームは、それだけで精一杯。緊張の内に予選終了。結果は予選落ち。当然といえば当然の結果だった。しかし予選落ちによる100kmのコンソレーションレースがあり(実はこれがあるので参加したのだ)、これには無事出場となった。いよいよ決勝。スタートは変則ル・マン式。女性ヘルパーがコースを横ぎりドライバーにタッチしてスタートとなる。1周目は7番手通過。以後若干順位が上がるもの他のチームがピットインし始めると、さっぱり判らない。無我夢中で49周のレースが終了。結果は5位。驚くと同時に、賞とは無縁だと思っていただけに嬉しさはひとしお。チーム全員で表彰式に出て、帰ってから大いに祝杯を上げたことはいまでもない。つづくスポーツランドSUGOでのレース。前回の反省を

不安と興奮が交差するCMSC栃木のピットクルー達(SUGO)もとに車両を改良、タイヤ交換や燃料補給、ドライバー交替の綿密なスケジュールを立て、ピットクルーの練習を行なった。今回は予選がなく、受付順に参加受理される。まちがいがなくレースに出るわけだ。前夜11時に出発、7時着。2回目なので余裕がある。ただ、ちらつく小雪と真冬のごとき寒さ、強い西風には閉口した。午後1時20分ごろローリングでスタート。気温のせいタイヤも予想外に持ち、交換なし。燃料補給も1回。101周でチェッカー。18位であった。2回のレースを通じて、その面白さが少しづつ判ってきた。特にクラブ員全員でチェッカーを目指す雰囲気には今までにない一体感があり、クラブ内のまとまりを一層強めてくれるものと確信した。これからも事情の許す限りレースに参加していくつもりである。

(CMSC 栃木 町田俊英)



SUGOでのスタート風景



筑波サーキットを攻めた並木/稲見組ランサー

北から西から、 謹賀新年

CMSC 帯広(水沼達也事務局長)

今年も氷上トライアルを中心に、ラリーとダートラを合計4戦主催します。大勢の人達に楽しんでもらい、メジャーなスポーツになるよう頑張りたいとクラブ員一同奮闘中です。

CMSC 札幌(清水勝一事務局長)

会長自らガスタリオンで走るのを始め、イベントに参加する人が今年は増えそうです。2月か3月にはミーティングを兼ねて、ジュニア育成のダートラの練習会を予定しています。

CMSC 青森(館山正嗣事務局長)

1月24・25日に東北チャンピオンシリーズ第1戦のウインターラリーを主催、また2月にはダートトライアルの予定も。楽しく見せるものにしたいので、よろしくお祈りします。

CMSC 岩手(佐々木会長)

今年クラブ員のレベルアップのために、主催は7月のダートラ県シリーズのみ。そのかわりクラブ員を多くの競技会にエントリーさせ、実戦をとおして成長を図ります。

CMSC 山形(小川日出生会長)

月1~2回の練習会で戦力アップ。東北シリーズのラリー、県シリーズのダートラにはコルティア3台で、またミラージュカップも一戦参戦の予定。とにかく前向き的一年です。

CMSC 福島(菅野 茂会長)

2~3年前から若手が育ってきました。今年はそろそろクラブ主催のトライアルをと考えています。県シリーズ後半ぐらいのつもりで。いずれはラリーも開催したいと思っています。

CMSC 栃木(町田俊英事務局長)

耐久レースへの参加は、クラブ員の勉強になったようです。今年は6戦ぐらいに増やし、本格的に取り組みたい。また5月にはダートラ、10月にはラリーを主催します。

CMSC 群馬(荒井信介会長)

昨年はクラブ初のダートトライアルを主催。今年の計画はまだ未定ですが、前向きな活動をしていくつもりです。練習は個人個人に任せていましたが、今後は練習会を開きたい。

CMSC 岐阜(水野国幸事務局長)

地区ごと3ヶ所ぐらいに分かれて練習会を行なってきましたが、今年はひとりひとりのレベルアップを図るために、練習会を充実。実戦へも積極的に参加していくつもりです。

CMSC 香川(田中昭男会長)

今年2月と7月の四国ダートラリーシリーズ戦の開催や2回のファミリーラリー、夏のキャンプ、月2回の練習会などをとおして、楽しくモータースポーツを広めていきたいです。

CMSC 島根(杉坂啓一会長)

今年も日本海ダートトライアルチャンピオンシリーズのひとつを主催。当クラブから最も参加者の多いシリーズ戦でもあり、主催者としても、参加者としても頑張るつもりです。